

みなみ公民館だより 11月号

(令和7年11月1日発行)

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055



No.428

第29回 南町地区生涯学習フェスティバル

～来て！見て！歌って！楽しもう！～

11月8日(土)・9日(日) 10時～16時

イベント

- | 8日(土) | 9日(日) |
|--|------------------------------------|
| ・いきいき百歳体操
10時～12時
3階集会室 | ・ニュー・スポーツ ボッチャ
10時～12時
3階集会室 |
| ・健康相談室あひるの家
10時～12時
13時～15時
3階会議室 | ・防災展示コーナー
10時～12時
3階会議室 |
| ・点字体験
10時～12時
2階和室 | ・けん玉ショー
10時～12時
2階和室 |
| ・おはなしくまさん
14時～15時
2階和室 | ・けん玉級認定試験
13時～16時
2階和室 |
| ・つくってあそぼ
10時～12時
13時～16時
2階団体連絡室 | ・つくってあそぼ
10時～12時
2階団体連絡室 |

みんなで歌おう 懐かしの歌を歌いましょう♪

- 8日(土)
開場 12時45分 プレイメント 13時
開演 13時45分
3階集会室

団体発表

- 9日(日)
開場 13時 開演13時30分
3階 集会室
【出演予定】あやめ会、ポップコーン、
インド舞踊の会、フラ・オ・レイ・マカマエ、
ハーモニー、一中音楽部



皆様、ぜひお越しください！

イベント(両日)

- | | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------|
| ・喫茶みなみ&みんなの作品展
10時～16時 2階ラウンジ | ・ワラビー君と握手
①10時30分～50分 ②11時30分～50分 | ・クイズラリー
10時～16時 |
|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------|

●工事のお知らせ

屋上防水工事のため、11月中旬から来年1月頃にかけて、駐車場の利用台数を4台までとさせていただきます。ご利用者様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



公民館講座



◆シニア将棋入門教室

- 日時 11月20日(木) 13時40分～
場所 南公民館 3階集会室
対象 市内60歳以上 未経験者～中級者の方
定員 20人(先着順)
申込 11月6日(木)～ 電話・メール可



◆0歳児ママのふれあい広場

- 日時 11月27日(木) 10時～
場所 南公民館 2階和室
内容 絵本を楽しもう
定員 10組(先着順)
申込 受付中 電話・メール可
※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。



くるみ保育園 お月見団子づくり

くるみ保育園 園長

今年は、10月6日(月)が十五夜でしたが、あいにくの曇り空だったこともあり、きれいなお月さまを見ることはできませんでしたね。

保育園では、年長さんがお月見のお団子づくりに挑戦しました。

白玉粉に水を少しずつ加えて、柔らかくなるまでこねて丸めてもらうと、色々な丸みのお団子が出来上がりました。(笑)

出来上がったお団子を三方に飾りお供えをし、子ども達と秋の風情を感じることができました。



河鍋暁斎記念美術館 2025年11月展覧会 企画展「画鬼暁斎 めくるめく妖怪画展」 同時開催 特別展「『暁斎鈍画』の世界」展

※最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2025年11月1日(土)～12月22日(月)

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

邪気祓いの宮中行事「追儺式」(鬼やらい)が^{おおみそか}大晦日に行われていたことにちなみ、当館で11-12月に開催し始めた妖怪画展もすっかり恒例となりました。今年は、元々は中国の道教の神で、^{えきびょうよ}疫病除けの神とされる^{しょうき}鍾馗が鬼を驚づかみにして駆ける姿を暁斎が、その上の松を^{たきかてい}滝和亭が描いた「松に鍾馗と鬼図」などを展示しています。

第3展示室では暁斎の絵本『暁斎鈍画』(明治14年<1881>)より、妖怪画や動物戯画、能狂言画や七福神図など、バラエティーに富んだ多彩な画をパネル展示でお楽しみいただきます。

【 今月のお勧め作品 】

『暁斎百鬼画談』より「塗り仏、川太郎、青坊主、巨大な赤い玉」 暁斎 明治22年(1889)8月 版本

本図は河鍋暁斎が明治22年(1889)4月に没した年の8月に出版された『暁斎百鬼画談』の最終場面です。百年経った古い器物が^{へんげ}変化した付喪神など、さまざまな妖怪たちが百鬼夜行をする本書の最後には、巨大な赤い玉が描かれています。これは朝日で、日の出とともに妖怪たちの時間が終わることを暗示しているものと考えられています。

